

高等学校外国語科学習指導案

日 時 令和5年〇月〇日(〇)
 第4校時 11:50～12:40
 対 象 1年3,4組(26名)
 学校名 〇〇〇〇高等学校
 授業者 教諭 〇 〇 〇 〇
 場 所 〇〇〇 教室

1 単元名

Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere

教科書: Landmark FIT English Communication I

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

本文の内容、内容に関する実際の例、友人の提供する情報などを踏まえ、自分たちの日常生活をよりよく改善する商品と、それを選んだ理由などを、相手にわかりやすく、自信を持って英語で説明することができる。

(2) 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	【知識】 発表に必要な語彙・表現を使用できる 【技能】 聞き手に自分の考えをよく理解してもらうために、はっきりと話し、時には抑揚や間を使い、聞き手にとってわかりやすく、説得力を持たせる工夫ができています。	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、自分が考えた発明品や活動についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えている。	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、自分が考えた発明品や活動についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えようとしている。

3 指導にあたって

(1) 教材観

生徒にとって身近に感じやすい話題から、社会的な話題まで用意されており、単元ごとに様々な言語活動を行うことが出来る教材である。コンテンツについては「読む」能力にフォーカスされているため、4技能のバランスについて考慮し、現在は独自にハンドアウトを作成し、指導している。単語数が少なく、難易度は決して高くはない教材のため、習熟度の高い生徒にとってはすぐに読解が終わってしまい、学力の伸長という観点では別途レベルの高い教材を与える必要がある。しかし、本校は生徒の学力の幅が大きいいため、全生徒の学力を考慮すると、本校の実情に適した教材と言える。

(2) 生徒観

本校は進路多様校である。様々な学力の生徒がおり、全国模試や英語検定で好成绩を収める生徒もいれば、中学校での既習事項の学びなおしを要する生徒も少なくない。純朴で素直な生徒が多く、何事も一生懸命取り組む生徒が非常に多い。

本校の生徒の課題は、学習を主体的に行うことができる生徒が非常に少ないことである。そのため、英語の授業では様々なジャンルのトピックを取り扱うことから、学習を通じて何事にも興味を持ち、主体的に自分の意見を考え、発信できる生徒を3年間かけて育てたいと考えている。

(3) 指導観

(2)で述べたように、様々な学力の生徒がいることから、習熟度別に授業を展開し、それぞれのクラスで生徒の実態に合わせた指導を行っている。

4 指導と評価の計画（計13時間）

時間	ねらい（■），言語活動等（丸数字）	評価の観点			備考
		知	思	態	
1 8 (8)	<p>Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere</p> <p>■ 本文を通じて、2人の大学生が発展途上国の子ども達が直面している課題に対し、どのような発明品を製作したか、その結果はどうなったかを理解する。</p> <p>① 単元の最初に、目標とパフォーマンステストについて説明する。</p> <p>② Part 1～Part 4まで、本文理解の問題、音読活動などを通じて内容を理解する。</p> <p>【帯活動（各時間10分～15分）】 帯活動計画表に基づき、様々なテーマについて、相手に自分の意見を紹介するミニスピーチを行う。</p>	<p>一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間行う。</p>			帯活動は、別途計画表を作成し実施する。
9 11 (3)	<p>■ パフォーマンステストに向けての準備</p> <p>1時間目</p> <p>① パフォーマンステストについて、簡潔に確認する。</p> <p>② 準備</p> <p>2～3時間目：全て準備時間に充てる。</p>				
12 (1)	<p>■ パフォーマンステストを実施する前に生徒同士で発表しあい、自分の発表の印象を確認する。</p> <p>① ランダムに4人～5人グループに分かれる。</p> <p>② 1人の生徒は発表、残りの生徒は発表を見る。</p> <p>③ 発表を振り返り、評価基準と比べて、自分でうまくいったところと本番に向けての課題を考える。</p>				
13 (1)	パフォーマンステスト（後日）				

5 パフォーマンステストの実施計画

領 域	□ 話すこと [やり取り] ■ 話すこと [発表] □書くこと
関連する Can-Do リスト	第1学年 日常的、社会的な話題について基本的な語句や文を用いて、自分の意見や気持ちを整理し、簡潔に伝えることができる。
実施内容	自分の生活をよりよくするような商品を発表する。 商品は、実際に販売されているものや、全国の学生が考えた Universal Design に関連する商品など、自分が友人や知人におすすめしたい商品を紹介する。
実施方法	1. 帯活動や本文で紹介された内容を踏まえ、課題を立て、発表する商品を調べる。(個人で行う) 2. パフォーマンステスト実施の前に、生徒同士で発表を行い、お互いの良い部分を吸収し合う。 3. 後日、クラスの人数を2つに分け、発表を行う。

■ 採点の基準

○ 「思考・判断・表現」についての2つの条件

条件1：その商品が作られた背景や目的を説明している。

条件2：なぜ自分がその商品に注目し、発表しようと思ったのかを説明している。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> 語彙や表現が適切に使用されている。 はっきりと話され、時には抑揚や間を使い、聞き手にとってわかりやすく、説得力を持たせる工夫ができています。 	2つの条件を満たしている。また、2つの条件に関する具体的、詳細な説明や、商品の妥当性や効果などの情報を入れるなどして、その商品の必要性を効果的に伝えている。	2つの条件を満たそうとしている。また、2つの条件に関する具体的、詳細な説明や、商品の妥当性や効果などの情報を入れるなどして、その商品の必要性を効果的に伝えようとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> 多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。 スピードが速い、声が小さいなど、時折理解に支障をきたす部分があるが、概ね内容を理解できる。 	2つの条件を満たしている	2つの条件を満たそうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

【モデルスピーチ①】※3つの観点すべてでa評価となるもの

Hello everyone, I am Kosuke Matsuda. Today, I'm going to introduce the play cards for lefthanded people. The reason why I chose this product is that I am left-handed. I always have trouble seeing the marks of cards when I play cards. The ordinal cards have marks at only two corners. So it is difficult for many left-handed people to see marks when they open. Look at this play card. It has four marks on every corner. So it is easier for the left-handed to see than the ordinal one. According to the research, ten percent of us are left-handed. So there are about three left-handed in this class. I want you to enjoy playing cards too. I found that you could see it at DAISO in Rumoi. How about buying? Thank you for listening.

【モデルスピーチ②】※3つの観点すべてでb評価となるもの

Hello everyone, I am Kosuke Matsuda. Today, I'm going to introduce the play cards for left-handed people. The reason why I chose this product is that I am left-handed. Look at this play card. It has four marks on every corner. So it is easier for the left-handed to see than the ordinal one. You can buy it at DAISO in Rumoi. Thank you for listening.

6 本時の展開（7／13 時間目）

ねらい

本文の内容理解を通じて、発明品の成果と、その体験を通じて筆者が伝えたいことが何かを理解できる。

過程	学習内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入 (10 分)	【帯活動】 おすすめ商品を英語で紹介する。	前時に教員から提示されたテーマにちなんだ商品を英語で説明し合う。 発表後、振り返りシートに「話すこと（発表）」における、抑揚、間などの良い点、課題点、改善のための方策などを記入する。さらに、商品の内容記述に関する課題点や工夫点を記入する。	活動の目的を説明する。 <目的> ①スキル：抑揚や間を置くなどして、相手にとってわかりやすい説明を行うよう努める。 ②内容：商品の情報、背景や意図などについて、様々な視点を知ることなどで考察を深める。
展開 (30 分)	Oral Introduction (5 分)	前時の内容の復習、本文にまつわる簡単なやりとりを行いながら、本時の目標を理解する。	本文読解を通じて答えて欲しい「問い」を提示する。
	新出語句紹介 (10 分)	Listen and Repeat を行い、新出語句の確認を行う。その後、Google 翻訳を用いて発音練習を行う。	発音練習には「Google 翻訳」を用いる。発音がわからなければ、Google 翻訳で何度も再生して真似するよう指示する。
	本文理解 (15 分)	Listening を行い、本文に関する問題を解く。その後教科書本文を読み、解答を確認する。	Listening 終了後、自分たちの解答についてシェアを行ったうえで教科書の Reading 活動を行う。
まとめ (10 分)	本文に関する Q&A	ペアになり、本文の内容に関する簡単な質問に答える。	この活動を通じて、本文の内容を定着させたり、本文の内容に関して生徒同士の意見を交流させたりする。

第5回 帯活動(ミニスピーチ)

Topic:これまでに「すげー！！」と感動した商品(文房具、スマホ、アプリ、電化製品など)

スピーチに盛り込む内容

評価規準

1	その商品で何ができるのかを説明している。
2	自分がなぜそれを選んだかを説明している。

※ 時間は1分以上2分未満で作成してください。

※ スマホ、タブレット、Google スライドなどを適宜活用してください。

※ ただ「感動した！」だけではなく、相手もその感動がわかるように、様々な情報を伝えましょう。

	スピーチ技法 (知識・技能)	スピーチ内容 (思考・判断・表現)	情熱 (主体的に学習に取り組む態度)
A	語彙や表現が適切に使用されている。 はっきりと話され、時には抑揚や間を使い、聞き手にわかりやすく伝える工夫ができています。	2つの条件を満たしている。 また、それらに関する補足情報を述べるなど、より具体的に述べている。	2つの条件を満たしている。 また、それらに関する補足情報を述べるなど、具体的に述べようとしている。
B	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。 スピードが速い、声が小さいなど、時折理解に支障をきたす部分があるが、概ね内容を理解できる。	2つの条件を満たしている	2つの条件を満たそうとしている。
C	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

0 Your Goal

1 【理解の能力】本文を聞いたり読んだりする活動を通じ、その概要や詳細に関する質問に答えることができる。

1 Warm-up

Read Lesson 8 Part 3 again and answer the questions below.

Q1 What is the mission of e-Education?

A1 It is “_____”.

Q2 What did Saisho and Miwa do for children in Bangladesh and Mindanao ?

A2 They _____.

2 New Words and Phrases

1.	advice	【名】忠告、アドバイス	2.	participate in A	Aに参加する。
3.	work for A	Aに勤務する	4.	ministry	【名】省
5.	Ministry of Education	教育省	6.	passion	【名】情熱
7.	advise	【動】忠告する アドバイスをする			

3 Listening/Reading

Q1 One of the students who used e-Education wants to ()

- A be a president of Bangladesh.
- B make education better for children.
- C make Bangladesh the richest country in the world.

Q2 Miwa feels that ()

- A students in Bangladesh want to try hard not only for themselves but also for society
- B students in Bangladesh want to work for Ministry of Education.
- C students in Bangladesh want to get much money.

4 Q and A

Q1 What is Miwa's advice for high school students in Japan?

A1 He advises _____.

Q2 What do YOU want to challenge for our better lives?

_____.

For Q2 Useful Expressions

Ex) I want to make new cars which are safer.

Ex) I would like to be a teacher because I want to be with many children.

Ex) I am interested in inventing new apps for elderly people.

5 Reading Training

元気に音読しましょう

6 Sum Up!

In Bangladesh, the students who used e-Education are actively (1) in society. They are working to achieve their life (2). According to Miwa, they try hard not only for (3) but for their society. He (4) high school students to think about what (5) they want to solve for someone.

dreams / participating / advises / problem / themselves

8 Review

Ⅰ【理解の能力】本文を聞いたり読んだりする活動を通じ、その概要や詳細に関する質問に答えることができた。 3・2・Ⅰ